



うちのイチ押し!

クラフトパーク 初夏の1日体験教室

クラフトパークでは、本格的な工芸体験ができる1日体験教室を開催します。



織物

シルク Cotton の
ショール

ステンドグラス

おうちランプ



サンドブラスト

選べるグラスに
模様を彫ろう!

吹きガラス

吹きガラス体験
※作品は約1週間後の
引渡し



バーナーワーク

マーブル模様
の
とんぼ玉チャーム

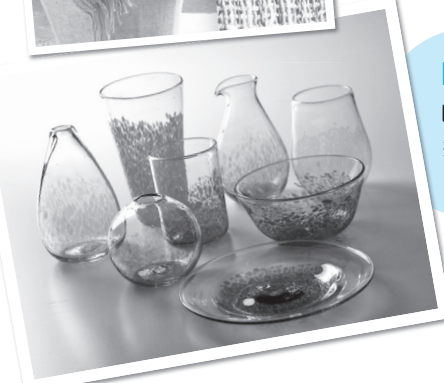


金工

銀のリングまたは
ペンダント

陶芸

①陶器のうつわ ②陶器の貯金箱をつくろう!
※作品は約1カ月半後の引渡し(②陶器の貯金箱を
つくろう!の作品は8月23日(日)以降の引渡し)



日時 7月5日～8月9日の毎週日曜 14:00～16:30

※吹きガラスは①14:00～15:15 ②15:15～16:30

※陶芸は①14:00～16:00 ②14:00～16:30

場所 クラフトパーク(大阪メトロ「出戸」からシティバス「六反一丁目」より320m)

対象 吹きガラス・サンドブラスト・陶芸…小学1年生以上 織物…
小学4年生以上 ステンドグラス・バーナーワーク・金工…
小学5年生以上 ※小学生は保護者同伴

定員 先着4～12人(教室により異なる)

費用 陶芸①・サンドブラスト…2,000円 陶芸②…2,500円
バーナーワーク…3,000円 織物・ステンドグラス・金工…
3,200円 吹きガラス…3,500円

申込 ☎ ※定員に空きがあれば当日でも参加できる。

お問い合わせ

クラフトパーク 〒547-0012 平野区長吉六反1-8-44
TEL.4302-9210 FAX.4302-9212
大阪メトロ「出戸」からシティバス「六反一丁目」より320m



おおさか

歴史探訪

146

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

大阪市の上水道整備のはじまり—感染症の猛威に歯止めを

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるうなか、いのちを守るため私たち一人ひとりの行動に責任と思いやりがもとめられています。医療が発達した現代において感染症が私たちの生活にこれほどの脅威を与えるとは想像していなかった人も多いでしょう。歴史をたどると、感染症はこれまでに幾度となく人々に困難を与え、そのたびに人々はさまざまな取り組みをおこなってきました。

たとえば、明治時代には海外との往来が活発になるとともに感染症も流入し、大阪では明治10年代にコレラが大流行しました。芝居や興行が禁止されたほか、感染症専門の避病院が設置されるなどし、大阪市では感染症患者の全額市費負担での治療などを実施しました。また感染拡大を防ぐため、上下水道の整備が進められました。当時、市内の飲料水は川水と井戸水にたよっていたため、コレラが流行すると飲料水の煮沸や川水をくみ上げる場所を指定するなどの対応がとられました。また市街地の下水は堀川や河川へ流されていたため、その過程で井戸水を汚染したり、潮の干満により汚水が遡上するといった問題が生じていました。そうした状況を改善してコレラの流行に歯止めをかけるため、明治23(1890)年に「上下水道改良工事緊急着手の建議」が大阪市参事会に提出されました。これにより明治25(1892)年に上水道工事が開始、桜の宮(現在の都島橋東詰付近・中野町五丁目)に水源池を置いて淀川の水を引き、市内で最も標高の高い現在の大阪城天守閣の隣に配水池を設けてそこから自然流下方式で水を供給するというものでした。明治28(1895)年には約61万人に供給可能な上水道設備が完成し、清らかな水が各家庭に送水されるようになりました。下水道の敷設工事も明治27(1894)年に着工、同34(1901)年に完了しました。

現在ではあたりまえになっている上下水道も、人と感染症との歴史の一端を示しています。



桜の宮水源池跡にある「大阪市水道発祥之地」碑(大正3(1914)年に柴島浄水場が完成すると、大正9(1920)年に桜の宮水源池は廃止となった。)